

入院診療計画書② 【短期滞在】下肢静脈瘤(局所麻酔) CAC

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付			
経過	短期滞在センター	手術後	退院日
	案内に従い、入院手続きをお願いします	手術後に一般病棟へ移動します	
目標	精神的準備ができています		日常生活の注意点について理解できる
	疼痛コントロールが図れ、術後合併症がなく経過することができる 局所の安静を保つことができる 手術後、出血がなく感染を起こさない		異常や痛みを訴えることができる
注射	 点滴 短期滞在センターまたは手術室で始めます	 点滴 夜で終了	
投薬	 朝の内服薬があるときは、少量の水で内服してください 中止の指示があるお薬は内服しないでください	 夕方から内服薬再開	
	 入院中はお薬を変更することが多いため、看護師が管理します	 痛みが強い場合、痛み止めを内服します	 抗菌薬内服(2日間)
検査			 採血 朝
処置	 血圧や体温、脈拍などのバイタルサインを測定	 バイタルサインを測定 帰室時・帰室1時間後・午後・寝る前	 バイタルサインを測定 朝
	 手術する側に印をつけます	 心電図モニター装着 1時間後の状態が問題なければ外します	 診察と処置 退院に際して、注意点の説明があります
食事	 手術当日は、来院の2時間前から絶食です	 昼から食事を再開 飲水は、帰室時からできます	 食事の制限はありません
清潔	手術の前日に入浴を済ませてください	 退院後から次回外来まではシャワー浴のみです。湯船につかることはできません	
安静度	 活動の制限はありません	 手術中に静脈麻酔を使用した場合、術後1時間の安静が必要 1時間後、安静解除となり活動の制限がなくなります	
リハビリ	リハビリはありません		
確認事項	必要物品: パジャマをレンタルされない方は浴衣と無地のバスタオルをご用意ください 弾性ストッキングの着用は任意です。術前からむくみが強い方は入院前に購入をおすすめします。手術後1日目から使用します	手術後は足に弾性包帯を巻きます	退院後の弾性ストッキングの着用は任意です。術後数日間はむくみが強い場合があるため、お持ちの方は次の外来まで着用をおすすめします 就寝時はストッキングを脱いでもかまいません
指導	公共の交通機関で来院してください 当日は家族の方の付き添いが必要です マニキュア・補聴器・入れ歯・指輪・眼鏡・コンタクトレンズなどの装飾品、貴重品は、ご家族の方へ預けて下さい 家族の方は病棟へご案内します。手術中は病棟のデイルームでお待ち下さい		